

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場会社名 株式会社 クロップス
 コード番号 9428 URL <http://www.crops.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 名

(氏名) 前田 博史
 (氏名) 小林 正明

TEL 052-588-5640

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,251	△7.7	455	12.0	490	23.2	236	87.2
21年3月期第3四半期	12,185	—	406	—	398	—	126	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	22.51	21.99
21年3月期第3四半期	12.04	11.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	7,177	2,750	36.5	245.80
21年3月期	6,630	2,492	35.6	224.86

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,621百万円 21年3月期 2,359百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	1.50	1.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△8.7	515	3.5	505	4.7	236	237.4	22.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 10,664,000株 21年3月期 10,494,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 139株 21年3月期 139株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 10,504,370株 21年3月期第3四半期 10,486,275株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や新興国の景気回復が下支えとなり、景気悪化の底打ちの兆しが見られるものの、雇用環境の厳しさや個人消費の低迷など、全体としては先行き不透明な状況からは抜け出しきれない状態となっております。

このような経済環境の中、当社が営む移動体通信事業におきましては、国内の携帯電話契約件数が1億1千万件を超え成熟状態にある中で、通信事業者各社において新機種の発表や新たな料金プランの提供、コンテンツサービスの提供等により顧客獲得に向けた競争はますます激しくなっております。

子会社が営む人材活用事業におきましては、雇用環境の厳しさから東海地区をエリアとする人材派遣市場も製造業、流通業を中心として縮小しております。

ビルメンテナンス事業においては、顧客企業からの値下げ要請による単価の見直しや同業他社との価格競争がますます激しくなる状況となっております。

また、平成21年7月に株式取得により子会社化した株式会社テンポリノベーションが営む飲食店舗居抜き流通事業は、景気悪化による外食産業が低迷する中においても、飲食店舗の出店需要は堅調であることから、順調に推移しております。

このような市場環境にあって、当社グループは既存顧客の確保と新規顧客の開拓に向けた営業活動の展開とともに、M&Aによる新規事業の展開など事業構造の改革を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高11,251,592千円（前年同期比7.7%減）となりましたが、損益面におきましては営業利益455,067千円（前年同期比12.0%増）、経常利益490,818千円（前年同期比23.2%増）、四半期純利益236,493千円（前年同期比87.2%増）となりました。

事業区分別の概況は、次の通りであります。

①移動体通信事業

移動体通信事業におきましては、従来から店舗の大型化を推進しておりますが、平成21年6月にa u ショップ桜山（名古屋市昭和区）とa u ショップ昭和高校前（名古屋市天白区）を統合して新たにa u ショップ御器所（名古屋市昭和区：敷地面積822㎡）を新規出店致しました。

また、平成21年9月にa u ショップ豊田山之手（豊田市）を移転して店舗の拡充（敷地面積662㎡）を行い、平成21年11月にはa u ショップ鈴鹿中央通（鈴鹿市）のリニューアルを行い店舗の活性化と利便性の向上を図っております。

営業活動におきましては、折込広告・DM・店頭案内とともにa u マイプレミアショップ会員に登録されたお客様にEメールによる新機種発売や関連情報の提供を積極的に行い、新規顧客の発掘と既存顧客の機種変更促進に注力致しました。

こうした活動の中、市場環境の悪化から新規販売台数は前年同期を上回ったものの機種変更台数においては前年同期を下回り、総販売台数も前年同期を下回り減収となりました。しかしながら、分離販売の導入により新規販売・機種変更ともに採算性が向上したことや、作業系手数料においても保守サービスおよび料金プランの変更等が増加したこと増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,234,247千円（前年同期比6.2%減）、営業利益は392,021千円（前年同期比3.9%増）となりました。

②人材活用事業

人材活用事業におきましては、人材派遣では東海地区の自動車産業をはじめとした各産業が低迷する中で人材派遣市場が縮小したことや、平成21年3月末をもってIT系の技術者派遣から撤退したことにより、販管費の大幅な圧縮に努めたものの吸収できず減収減益となりました。

ビルメンテナンスでは、顧客企業の業績が低迷していることから、販売単価の見直し等により全業種で売上高は前年を下回る結果となりましたが、原価低減、費用の圧縮に努めた結果、減収増益となりました。

光回線販売では、立ち上げ初年度であり営業態勢の拡充に努めているところであります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,507,886千円（前年同期比20.5%減）、営業利益は25,840千円（前年同期比11.4%増）となりました。

③飲食店舗居抜き流通事業

飲食店舗居抜き流通事業におきましては、平成21年7月に株式会社テンポリノベーションを子会社化し、体制の整備とともにWebサイト（居抜き店舗.com）による出店希望者へのアプローチ、店舗物件の開拓等積極的な営業活動を展開した結果、堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（平成21年7月1日から平成21年12月31日までの6ヶ月間）の売上高は630,433千円、営業利益は36,577千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第3四半期末における総資産は、現金及び預金の減少435,936千円や受取手形及び売掛金の減少444,540千円等があったものの、子会社の取得に伴い当該子会社が有する差入保証金の増加716,941千円や貸与資産の増加236,209千円等があったことにより、前連結会計年度末に比べ546,647千円増加し、7,177,366千円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の支払いによる減少87,582千円や短期借入金の減少100,000千円等があったものの、長期預り保証金の増加561,980千円や未払法人税等の増加66,847千円があったことにより、前連結会計年度末に比べ288,377千円増加し、4,426,415千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加220,752千円やその他有価証券評価差額金の増加28,958千円等により、前連結会計年度末に比べ258,270千円増加し、2,750,950千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ435,936千円減少し、1,555,885千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は352,962千円（前年同期比3.8%減）となりました。これは主に差入保証金の増加額120,470千円や法人税等の支払額231,278千円があったものの、税金等調整前四半期純利益476,624千円や売上債権の減少額444,540千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は509,998千円（前年同期比12.0%減）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出349,620千円や、有形固定資産の取得による支出145,562千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は278,900千円（前年同期は1,163,106千円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入200,000千円があったものの、短期借入金の純減少額125,739千円や長期借入金の返済による支出349,364千円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気の悪化に底打ちの兆しが見られるとの一部観測はあるものの、企業業績の低迷、雇用情勢・所得環境の悪化による個人消費の低迷など依然景気の不透明感は続くと思われ、予想されます。

このような経営環境を鑑み、平成22年3月期の通期業績予想は変更しておりませんが、今後変更が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当第3四半期連結累計期間における税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて算出しております。なお、法人税等調整額については、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,565,885	2,001,822
受取手形及び売掛金	1,144,687	1,589,227
商品	624,222	529,418
貯蔵品	5,397	4,197
繰延税金資産	102,007	97,486
その他	211,674	71,332
貸倒引当金	△3,117	—
流動資産合計	3,650,757	4,293,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	771,317	700,083
土地	1,051,581	1,051,581
貸与資産（純額）	236,209	—
建設仮勘定	—	21,493
その他（純額）	83,190	92,056
有形固定資産合計	2,142,299	1,865,215
無形固定資産		
投資その他の資産	99,835	44,229
投資有価証券	181,397	123,935
繰延税金資産	89,729	51,097
差入保証金	※1 888,707	182,779
その他	124,638	69,976
投資その他の資産合計	1,284,473	427,788
固定資産合計	3,526,608	2,337,233
資産合計	7,177,366	6,630,718
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	675,085	762,668
短期借入金	800,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	300,280	336,296
未払金	573,131	625,506
未払法人税等	130,671	63,824
賞与引当金	129,002	198,188
事業構造改善引当金	5,194	73,860
その他	338,900	252,370
流動負債合計	2,952,266	3,212,714

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	737,140	794,930
長期預り保証金	561,980	—
繰延税金負債	465	104
退職給付引当金	114,328	109,940
役員退職慰労引当金	14,780	20,350
その他	45,455	—
固定負債合計	1,474,149	925,324
負債合計	4,426,415	4,138,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	249,067	243,117
資本剰余金	309,188	303,238
利益剰余金	2,034,417	1,813,665
自己株式	△44	△44
株主資本合計	2,592,629	2,359,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,645	△313
評価・換算差額等合計	28,645	△313
少数株主持分	129,676	133,016
純資産合計	2,750,950	2,492,680
負債純資産合計	7,177,366	6,630,718

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,185,808	11,251,592
売上原価	9,397,129	8,490,938
売上総利益	2,788,678	2,760,653
販売費及び一般管理費	2,382,419	2,305,586
営業利益	406,258	455,067
営業外収益		
受取利息	1,580	821
受取配当金	4,664	686
違約金収入	—	99,184
その他	3,446	34,134
営業外収益合計	9,690	134,826
営業外費用		
支払利息	14,032	15,950
固定資産売却損	—	※1 66,728
固定資産除却損	—	※1 5,481
その他	3,630	10,915
営業外費用合計	17,663	99,075
経常利益	398,286	490,818
特別利益		
固定資産売却益	1,511	190
投資有価証券売却益	2,928	—
貸倒引当金戻入額	—	2,314
受取補償金	—	7,011
移転補償金	—	6,942
特別利益合計	4,439	16,458
特別損失		
固定資産除却損	12,434	※1 18,160
投資有価証券評価損	87,333	—
事業構造改善費用	—	7,297
事業構造改善引当金繰入額	—	5,194
特別損失合計	99,768	30,651
税金等調整前四半期純利益	302,957	476,624
法人税等	183,335	243,485
少数株主損失(△)	△6,732	△3,353
四半期純利益	126,354	236,493

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	302,957	476,624
減価償却費	76,347	125,872
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,314
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△69,030	△78,856
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,200	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,955	4,388
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,580	△5,570
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	—	△68,665
受取利息及び受取配当金	△6,244	△1,507
支払利息	14,032	15,950
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,928	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	87,333	—
固定資産除却損	9,888	13,367
売上債権の増減額 (△は増加)	694,849	444,540
たな卸資産の増減額 (△は増加)	158,669	△95,911
仕入債務の増減額 (△は減少)	△521,797	△87,582
差入保証金の増減額 (△は増加)	—	※1 △120,470
その他	△27,950	△34,826
小計	721,464	585,038
利息及び配当金の受取額	5,936	1,233
利息の支払額	△15,296	△15,647
法人税等の還付額	71	13,616
法人税等の支払額	△345,190	△231,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	366,985	352,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△576,795	△145,562
無形固定資産の取得による支出	△9,249	△693
投資有価証券の取得による支出	—	△13,396
投資有価証券の売却による収入	7,928	—
差入保証金の差入による支出	△2,875	※1 △10,467
差入保証金の回収による収入	14,994	※1 11,539
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	※2 △349,620
その他	△13,299	△1,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△579,296	△509,998

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	550,000	△125,739
長期借入れによる収入	950,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△320,082	△349,364
株式の発行による収入	1,610	11,900
自己株式の取得による支出	△20	—
配当金の支払額	△15,663	△15,697
少数株主への配当金の支払額	△2,737	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,163,106	△278,900
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	950,795	△435,936
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,887	1,991,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,970,682	1,555,885

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	移動体通信事業 (千円)	人材活用事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,646,470	5,539,337	12,185,808	—	12,185,808
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	132,299	132,299	(132,299)	—
計	6,646,470	5,671,637	12,318,107	(132,299)	12,185,808
営業利益	377,222	23,186	400,408	5,850	406,258

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主なサービス

(1) 移動体通信事業・・・携帯端末の販売及び附帯サービス全般

(2) 人材活用事業・・・労働派遣法に基づく一般労働者派遣、特定労働者派遣、業務請負、職業安定法に基づく有料職業紹介、ビルメンテナンス事業等

3 営業費用のうち配賦不能営業費用はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	移動体 通信事業 (千円)	人材活用事業 (千円)	飲食店舗居抜 き流通事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,234,247	4,386,911	630,433	11,251,592	—	11,251,592
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	120,975	—	120,975	(120,975)	—
計	6,234,247	4,507,886	630,433	11,372,567	(120,975)	11,251,592
営業利益	392,021	25,840	36,577	454,439	628	455,067

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主なサービス

(1) 移動体通信事業・・・携帯端末の販売及び附帯サービス全般

(2) 人材活用事業・・・労働派遣法に基づく一般労働者派遣、特定労働者派遣、業務請負、職業安定法に基づく有料職業紹介、ビルメンテナンス事業等

(3) 飲食店舗居抜き流通事業・・・飲食店舗の出店・退店支援、サブリース等

3 事業区分の変更

平成21年7月16日に株式会社テンポリノベーションの株式を取得し、連結子会社化致しました。

当第3四半期連結累計期間より「飲食店舗居抜き流通事業」を営む株式会社テンポリノベーションを新たに連結範囲に含めたことに伴い、同事業が加わりました。

また、これにより資産が前連結会計年度末に比べ増加しております。

その概要は次のとおりであります。

差入保証金 716,941千円

貸与資産 236,209千円

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結貸借対照表関係）

前第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)
_____	※1 差入保証金の内訳は次のとおりであります。 (千円) 飲食店舗居抜き流通業に関する差入保証金 716,941 その他の差入保証金 171,765 合計 888,707

（四半期連結損益計算書関係）

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
_____	※1 固定資産売却損及び固定資産除却損 飲食店舗居抜き流通業に関する固定資産売却損及び固定資産除却損については、営業外費用で計上しており、その他の固定資産除却損については特別損失で計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)																
_____	<p>※1 差入保証金</p> <p>飲食店舗居抜き流通業に関する差入保証金の増減額については、営業活動によるキャッシュ・フローに計上しており、その他の差入保証金の差入による支出及び差入保証金の回収による収入については、投資活動によるキャッシュ・フローで計上しております。</p> <p>※2 株式を取得したことにより新たに株式会社テンポリノバージョンを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式会社テンポリノバージョン株式の取得価額と株式会社テンポリノバージョン取得のための支出（純額）との関係は次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>流動資産</td> <td style="text-align: right;">277,339</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">1,049,397</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td style="text-align: right;">52,217</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">△203,261</td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td style="text-align: right;">△657,076</td> </tr> <tr> <td>株式会社テンポリノバージョン株式の取得価額</td> <td style="text-align: right;">518,617</td> </tr> <tr> <td>株式会社テンポリノバージョン現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">168,996</td> </tr> <tr> <td>差引：株式会社テンポリノバージョン取得のための支出</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">349,620</td> </tr> </table>	流動資産	277,339	固定資産	1,049,397	のれん	52,217	流動負債	△203,261	固定負債	△657,076	株式会社テンポリノバージョン株式の取得価額	518,617	株式会社テンポリノバージョン現金及び現金同等物	168,996	差引：株式会社テンポリノバージョン取得のための支出	349,620
流動資産	277,339																
固定資産	1,049,397																
のれん	52,217																
流動負債	△203,261																
固定負債	△657,076																
株式会社テンポリノバージョン株式の取得価額	518,617																
株式会社テンポリノバージョン現金及び現金同等物	168,996																
差引：株式会社テンポリノバージョン取得のための支出	349,620																
